

BUSINESS REPORT

第87期 報告書

2016.4.1 ▶ 2017.3.31

市光工業株式会社



株主の皆さまへ

当連結会計年度における我が国経済は、株価回復などを背景にした国内消費の改善、低金利継続による堅調な住宅着工、外需の回復などから、緩やかな回復傾向を示しました。世界経済においては、北米は雇用指標が好調な水準を維持しており、中国およびアセアンなどの新興国も横ばいながらも景気は総じて堅調に推移いたしました。



当社グループが属する自動車業界におきましては、国内では、燃費不正の問題や熊本地震による生産停止等が発生しましたが、新車効果等により、国内生産台数は前期比で3年ぶりにプラスに転じました。アセアンでは、マレーシアが景気減速や銀行による自動車ローン条件の厳格化などから前期比減少となった一方で、タイは輸出のみならず国内需要も回復傾向にあり前期比増加、インドネシアも税制優遇される低価格エコカーが販売好調で前期比増加となり、アセアン3カ国の合計では前期比増加となりました。また、中国については、小型車向け減税策が販売を押し上げ、前期比増加となりました。

このような環境のもと、当社グループは、強固な企業体質を目指し、売上拡大に加え利益確保を最優先にグループ一丸となって、より一層の経費低減をはじめ、あらゆる合理化に取り組んでまいりました。その結果、当連結会計年度の事業の成果は、好調な国内受注増やアセアンの海外子会社の業績回復を主因に前期比で増収増益となり、売上高は113,195百万円（前期比10.8%増）、営業利益は4,809百万円（前期比98.0%増）、経常利益は5,233百万円（前期比74.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は5,916百万円（前期比136.2%増）と営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに過去連結会計年度における最高益を更新いたしました。

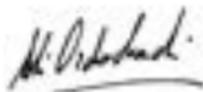
なお、筆頭株主であるヴァレオ・バイエンによる当社株式の公開買付けの結果、平成29年1月20日をもって、同社は当社の「その他の関係会社」から「親会社」となっております。

また、配当につきましては、当社は株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題と考えており、長期的な見通しを視野に入れ、安定的で継続的な配当を行うことを基本方針としております。

平成29年3月期の配当につきましては、中間配当は1株当たり1円50銭といたしましたが、期末配当につきましては、好調な収益状況と今後の投資計画などを総合的に勘案し、前期末配当額より1円増配し1株当たり2円50銭とし、年間配当金を4円とさせていただきたいと存じます。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長 オードバディアリ



連結財務ハイライト

売上高	113,195百万円
営業利益	4,809百万円
経常利益	5,233百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	5,916百万円

配当

期末配当	2円50銭
------	-------

次期の見通し

株主総会決議のとおり、決算期変更の経過期間となる次期は、平成29年4月1日から平成29年12月31日までの9ヶ月決算となります。

平成29年12月期の業績予想につきましては、国内外の自動車生産の見通しは不透明な状況にありますが、前年同期比では、売上高は国内受注が堅調に推移していることなどから増収、利益面につきましても国内の増収影響や海外子会社の更なる収益改善を図ることなどにより増益を見込んでおります。

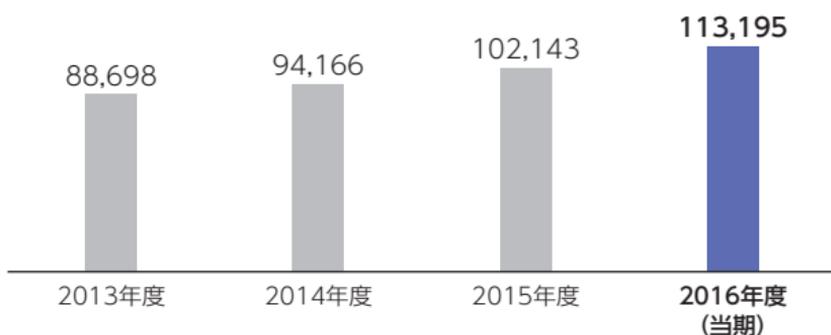
平成29年12月期の業績は、売上高は90,900百万円、営業利益は3,800百万円、経常利益は4,300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,700百万円を予想しております。

平成29年12月期の配当に関しましては、年間配当金を1株当たり4円とし、中間配当金は1株当たり2円50銭とし、期末配当金は1株当たり1円50銭とさせていただく予定です。

連結財務の推移

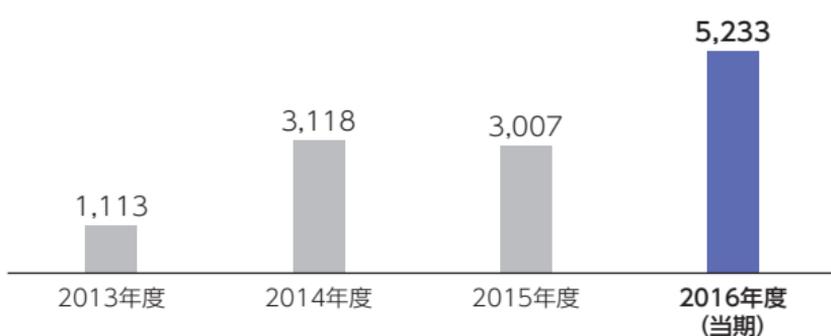
売上高

(単位：百万円)



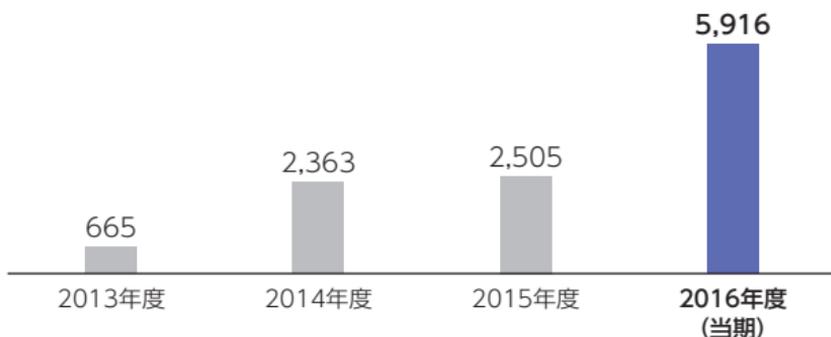
経常利益

(単位：百万円)



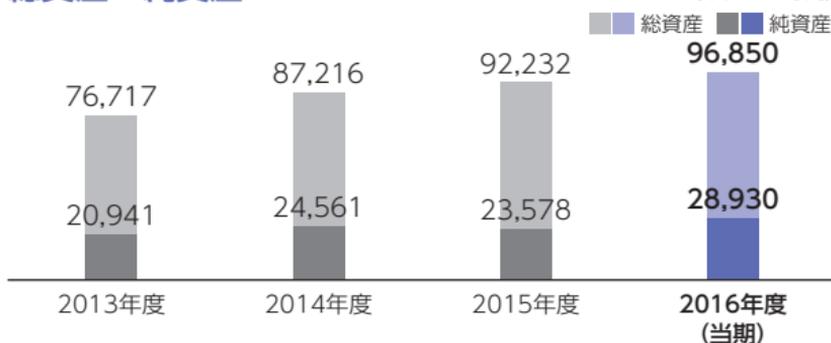
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



総資産・純資産

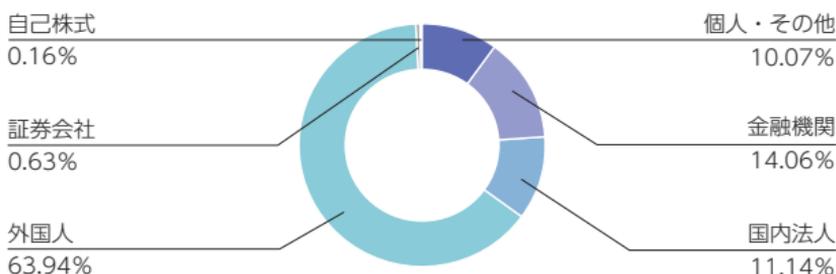
(単位：百万円)



株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行済株式の総数	96,220,851株
発行可能株式総数	200,000,000株
株主数	4,753名

所有者別分布状況 (株式数)



大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ヴァレオ・パイエン	52,922 千株	55.09 %
トヨタ自動車株式会社	5,869	6.11
株式会社みずほ銀行	4,775	4.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,610	4.79
ダイハツ工業株式会社	2,712	2.82
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	1,086	1.13
日本生命保険相互会社	1,040	1.08
CHACE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	930	0.96
三協株式会社	930	0.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	797	0.82

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (157,639株) を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
 3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、4,610千株であります。
 4. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、797千株であります。

株価および株式売買高の推移



(要約) 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2017年3月31日	前連結会計年度 2016年3月31日
資産の部		
流動資産	44,115	46,767
固定資産	52,734	45,464
有形固定資産	38,074	31,454
無形固定資産	2,119	2,290
投資その他の資産	12,541	11,719
資産合計	96,850	92,232
負債の部		
流動負債	42,480	37,874
固定負債	25,439	30,779
負債合計	67,919	68,653
純資産の部		
株主資本	28,788	23,112
その他の包括利益累計額	△1,114	△995
非支配株主持分	1,256	1,460
純資産合計	28,930	23,578
負債及び純資産合計	96,850	92,232

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2016年4月1日から 2017年3月31日まで	2015年4月1日から 2016年3月31日まで
売上高	113,195	102,143
売上原価	89,587	82,086
売上総利益	23,607	20,056
販売費及び一般管理費	18,798	17,627
営業利益	4,809	2,429
営業外収益	1,200	1,468
営業外費用	776	889
経常利益	5,233	3,007
特別利益	1	1,182
特別損失	321	1,198
税金等調整前当期純利益	4,913	2,991
法人税等	△1,055	575
当期純利益	5,969	2,416
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	52	△88
親会社株主に帰属する当期純利益	5,916	2,505

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2016年4月1日から 2017年3月31日まで	2015年4月1日から 2016年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,029	8,814
投資活動によるキャッシュ・フロー (△は減少)	△8,758	△2,145
財務活動によるキャッシュ・フロー (△は減少)	△9,643	557
現金及び現金同等物に係る換算差額	△269	△149
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,642	7,077
現金及び現金同等物の期首残高	17,164	10,086
現金及び現金同等物の期末残高	11,522	17,164

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第4の国内生産拠点「九州市光工業」

将来の成長を見据え、大幅にリニューアルを実施

ICHIKOHは、中期経営計画（MTP）のもと、生産能力確保のため、各生産拠点の整備・再構築を進めています。その一環として、連結子会社の九州市光工業を、現在の市光工業の伊勢原、藤岡、ミラーの国内生産3拠点に加え、第4の国内生産拠点と位置づけ、大幅にリニューアルし、“one TEAM one DREAM”のマインドのもと市光グループの飛躍を支える存在になっています。

今回のリニューアルにより、大幅に生産スペースを確保し、さらに増築計画を進め、将来的にはヘッドランプ、リア・コンビネーションランプの生産能力を拡大し、国内自動車生産マーケットに合わせた生産能力配分としていく予定です。

一昨年から藤岡製造所の強力なサポートのもと、お客様の信頼を得られる、ワンランク上の生産ラインを構築し、リア・コンビネーションランプを藤岡製造所と共にブリッジ生産するなど、お客様のニーズに対応しています。

中期的な人員体制の拡大も図り、地域と密着し、行政とも連携を取りながら、サプライヤーも含め、立地を生かした“ものづくり拠点”として、マザー工場である伊勢原製造所や藤岡製造所の生産ノウハウを基本に、さらに創造性を発揮し、自立した企業へと成長していきます。



九州市光工業（大分県中津市）



周辺の得意先拠点



製造ライン

世界一長い*120cmのハイマウント導光ストップランプ!

トヨタ自動車株式会社 プリウスPHVに採用

*当社調査

ICHIKOHは、2016年2月15日に国内発売された、トヨタ自動車株式会社の新型プリウスのハイマウント・ストップランプを含めたリア・コンビネーションランプを受注し、生産・納入しています。同社はハイブリッドカーの量販車種として世界中で大ヒットしたプリウスのコア技術を進化させ、次世代環境車のPHVやEV、FCVなどを展開しています。EVやFCVへの橋渡しモデルとなるプリウスPHVは、重要な戦略車種になっています。そのリア・コンビネーションランプのデザインはインパクトの高い存在感のあるものになっています。

リア・コンビネーションランプは全部で7個のパーツに分かれています。最も特徴的なのは、バックドアに組み込まれる波型にうねった形状のハイマウント・ストップランプで、幅が120cmと世界一の長さになっています。そのランプを発光させるのは、ランプ中央位置に配置されたわずか4個のLED光源で、導光棒を用いて効率良く光を拡散しています。また、ランプの薄さを実現するために、固定方法をビスから独自のクリップ式に変更して対応しました。

社内の営業担当、デザイナー、光学設計者、製品設計者、生産技術者、製造ライン等の各部門のスタッフの連携・協力体制により新世代のランプの製品化を達成しました。開発過程でのハードルが高ければ高いほど、イノベーションの創造が生まれ、スタッフのレベルアップをもたらし、また、達成時の喜びも大きくなったプロジェクトでありました。



プリウスPHV リアビュー

会社概要 (2017年3月31日現在)

商号 市光工業株式会社 (ICHIKOH INDUSTRIES, LTD.)

設立 1939 (昭和14) 年12月20日

資本金 8,955,574,428円

従業員数 連結 4,036名 (1,360名)
単体 1,726名 (915名)

(注) 従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員など、契約期間に定めのある従業員は () 内に年間の平均人員を外数で記載しています。

本店 〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地
TEL 0463 (96) 1451 FAX 0463 (96) 2080

事業所

本社・テクニカルセンター	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
伊勢原製造所	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
藤岡製造所	〒375-8508 群馬県藤岡市東平井1467 TEL 0274 (23) 2211
ミラー製造所	〒375-8507 群馬県藤岡市藤岡1360 TEL 0274 (23) 2121
中部支店	〒465-0025 愛知県名古屋市長区上社4-130 TEL 052 (709) 2011
東京事務所	〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-19 TEL 03 (6866) 5831
太田営業所	〒373-0851 群馬県太田市飯田町1245-1 TEL 0276 (59) 1815
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-16-3 TEL 06 (6384) 6551
札幌営業 (アフターマーケットセールス課)	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西4-2-2 TEL 011 (232) 0654

取締役および監査役 (2017年6月28日現在)

代表取締役会長	オードバディ アリ
代表取締役社長	サワー ハイコー
取締役	宮下和之
取締役	中野秀男
取締役	白土秀樹
取締役	ヴィラット クリストフ
取締役	ティヴォアヨン ブルーノ
取締役	マルテネッリ マウリッツオ
社外取締役	青松英男
社外取締役	デルマス ベルナール
常勤監査役	橋本寿来
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	スベストル ピエール

株主メモ

〔ご案内〕 第87回定時株主総会決議に基づき、事業年度、定時株主総会、剰余金配当支払株主確定日、中間配当金支払株主確定日および基準日が変更になっております。

事業年度	毎年1月1日から翌年12月31日まで (第88期は4月1日から12月31日までの9ヶ月)
定時株主総会	毎年3月
剰余金配当支払株主確定日	毎年12月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年6月30日 (第88期は9月30日)
基準日	毎年12月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	1,000株 ※平成29年10月1日から100株に変更いたします。

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。

<http://www.ichikoh.com/>



ICHIKOH

a Valeo company

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

